

3 交通事業会計

〔概要〕

平成26年度の交通事業の運営については、運行の安全性を確保するとともに、バス利用者の利便性とサービスの向上を図るため、新規路線の運行や車両及び車載設備等の更新を実施しました。

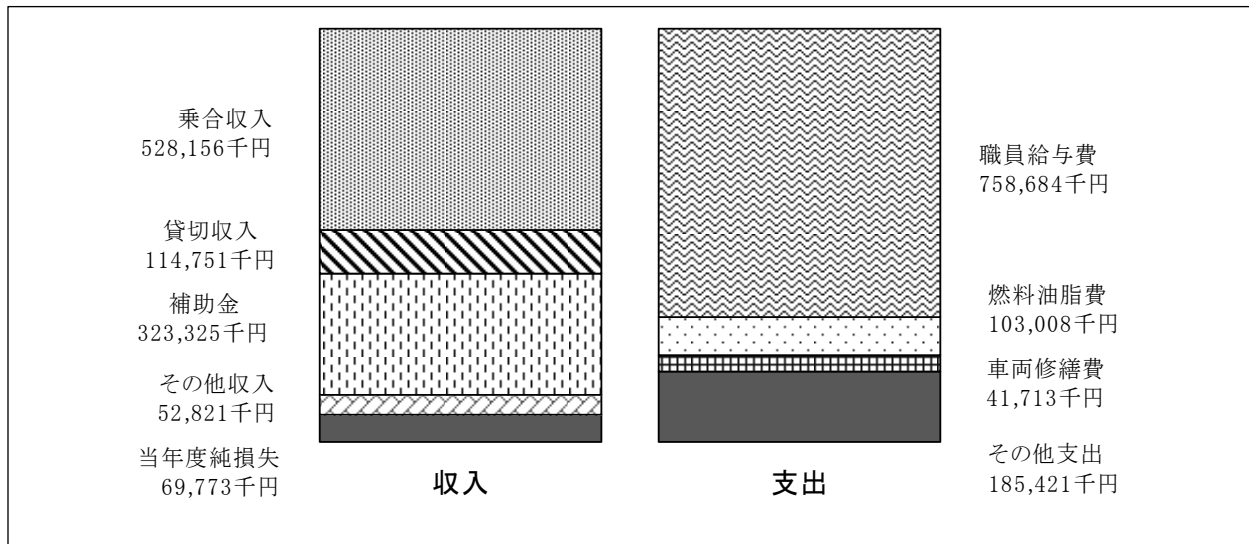
業務量については、乗合事業では、稼働バス台数は 21,253 台（前年度比 100.0%）、走行キロ数は 3,325 千km（前年度比 100.9%）、輸送人員は 2,515 千人（前年度比 97.3%）となりました。

一方、貸切事業では、稼働バス台数は 2,010 台（前年度比 100.4%）、走行キロ数は 347 千km（前年度比 103.4%）、輸送人員は 70 千人（前年度比 98.9%）となりました。

経営成績については、事業収益は 1,019,053 千円に、事業費用は 1,088,826 千円となり、収支差引の結果、当年度純損失は 69,773 千円に、また、当年度未処分利益剰余金は 59,374 千円となりました。

資本的収支については、収入は、企業債等で 54,436 千円、支出は、中型バス 3 台の新車購入費用、ドライブレコーダー設置費用及び企業債償還金等で 134,075 千円となり、差引不足額 79,639 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 6,894 千円及び過年度分損益勘定留保資金 72,745 千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕

